



**今日のトピック IMFの世界経済見通しは2021年5.5%成長
ワクチン普及を見据え、前回予測から上方修正**

ポイント1

**2021年の世界経済見通しは0.3ポイント上方修正
2020年は0.9ポイント上方修正**

- 国際通貨基金（IMF）は26日、最新の世界経済見通しを発表し、2021年の世界の成長率を前年比+5.5%と、昨年10月の前回予測から0.3ポイント上方修正しました。新型コロナウイルスのワクチンが先進国や新興国の一部に普及すると期待や昨年末に発表された日米などによる景気支援策を踏まえ、年後半に向け景気が回復するとの見方を示しました。
- 2020年の世界の成長率は前年比▲3.5%と、前回予想から0.9ポイント引き上げられました。昨年後半に経済活動が再開したことに伴い、世界的に消費が持ち直したことなどから、下期に景気の勢いが予想以上に強まったと説明しました。

ポイント2

**回復度合いに地域差
中国がけん引、欧州は下方修正**

- IMFによれば、2021年の世界全体の成長率見通しは引き上げられたものの、国・地域により景気の回復度合いに差が生じています。
- 2021年の経済成長をけん引するのは、+8.1%の中国で、2020年の+2.3%から大幅な伸びが見込まれています。インドも+11.5%と高い伸びです。
- 米国や日本では、追加の景気支援策により、それぞれ+5.1%、+3.1%と、前回予想から2.0ポイント、0.8ポイント引き上げられました。
- 一方、コロナ感染の再拡大に伴う経済活動制限により、ユーロ圏と英国は、前回予想から▲1.0ポイント、▲1.4ポイント下方修正されました。

【IMF世界経済見通し】

(%)

年	2020	2021	2022	10月見通しからの変化	
		(予)	(予)	2020	2021
世界GDP	▲ 3.5	5.5	4.2	0.9	0.3
先進国	▲ 4.9	4.3	3.1	0.9	0.4
米国	▲ 3.4	5.1	2.5	0.9	2.0
ユーロ圏	▲ 7.2	4.2	3.6	1.1	▲ 1.0
ドイツ	▲ 5.4	3.5	3.1	0.6	▲ 0.7
フランス	▲ 9.0	5.5	4.1	0.8	▲ 0.5
イタリア	▲ 9.2	3.0	3.6	1.4	▲ 2.2
日本	▲ 5.1	3.1	2.4	0.2	0.8
英国	▲ 10.0	4.5	5.0	▲ 0.2	▲ 1.4
オーストラリア	▲ 4.2	3.0	-	-	-
新興国	▲ 2.4	6.3	5.0	0.9	0.3
ロシア	▲ 3.6	3.0	3.9	0.5	0.2
中国	2.3	8.1	5.6	0.4	▲ 0.1
インド	▲ 8.0	11.5	6.8	2.3	2.7
ASEAN5	▲ 3.7	5.2	6.0	▲ 0.3	▲ 1.0
ブラジル	▲ 4.5	3.6	2.6	1.3	0.8
メキシコ	▲ 8.5	4.3	2.5	0.5	0.8

(注1) データは2020～2022年、IMF予測。ASEAN5はインドネシア、マレーシア、フィリピン、タイ、ベトナム。

(注2) オーストラリアは2020年10月時点の見通し。

(出所) IMFのデータを基に三井住友DSアセットマネジメント作成

今後の展開

**ワクチン普及の遅れなどが
リスク**

- IMFは今回、2022年の世界の経済成長率を+4.2%と予想しました。これは、ワクチン普及が進むことや米国や日本などの追加景気支援策によって、世界経済がさらに下支えされることが前提となっています。このため、IMFは、変異ウイルスの影響やワクチン普及の遅れなどをリスクとして挙げ、高い不確実性が残っていることを指摘しています。今後、各国による経済対策やワクチン普及のための連携などが注目されます。

**ここも
チェック!**

2021年1月12日 **リフレ政策の行方（吉川レポート）**
2021年1月 4日 **宅森昭吉に聞く『2021年の日本経済』**

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。